

中学部 美術 「造形活動を楽しもう ～小麦粉粘土～」



楽しそう。
でも、きっと上手に造れない。
どうしよう！

形にこだわらずに、
造形活動自体を楽しんでほしい！
活動に没頭してほしい。



①「小麦粉粘土って！」

- ・小麦粉と出会い、水の量を調節しながら感触を味わいます。
- ・小麦粉粘土と出会い、長くしてみたり、高くしてみたり。
- ・好きな色の粘土にすることも可能(今回は、あえて白)です。

おすすめポイント

小麦粉という、食材として使っている材料を使って、水の量を調整しながら粘土を作ります。さらさらの感触から水を増やしていくことで粘り気が増えていく様子を感じながら自分の好みの固さの粘土にしていけます。簡単に粘土の量が増やせます。

子どもの反応

はじめは、恐る恐る触っていたけれど、だんだんと大胆になり、こねたりのばしたりする姿が出てきました。



子どもの反応

友達の様子を見ながら真似したり、工夫を加えたりしながら活動に取り組む姿が出てきました。

子どもの反応

長さ勝負に勝ちたいので、どうすれば長くなるかそれぞれに工夫し始めました。



②「何を作る？」

- ・それぞれ自分の好きな物を作りました。
- ・「友達と作る」ことをめあてにせずとも、いつの間にか誰かと一緒に世界を作っていくようになりました。そこにコミュニケーションが生まれました。



子どもの反応

「何作ってんの？」
「ほんなら、石山駅作るわ」
「線路でつなげる？」

子どもの反応

「電車にするわ」
「線路の上動かしてみよか」



子どもの反応

「みんなのつなごう」
「みんなの作品になった」

